

九州南部における記録的な大雨 ＝ 6月1日から7月6日までの総降水量(速報) ＝

■ 九州地方における6月1日から7月6日までの総降水量 ■

図1に九州地方におけるアメダス地点の今年の6月1日から7月6日までの総降水量の分布図を示す。図中に示したアメダス地点の総降水量の1位はアメダス吉ヶ別府の1947.5mmとなった。上位1～10位までを表1に示す。

参考までに、九州地方の各県の気象台の6月の月降水量の平年値(1981-2010)(表2)と比較すると、今年の6月1日から7月6日までの総降水量は、九州北部(福岡・佐賀・長崎)で平年並み、九州中部(熊本・大分・宮崎)で平年の約2倍、九州南部(鹿児島)で平年の約3倍となっている。

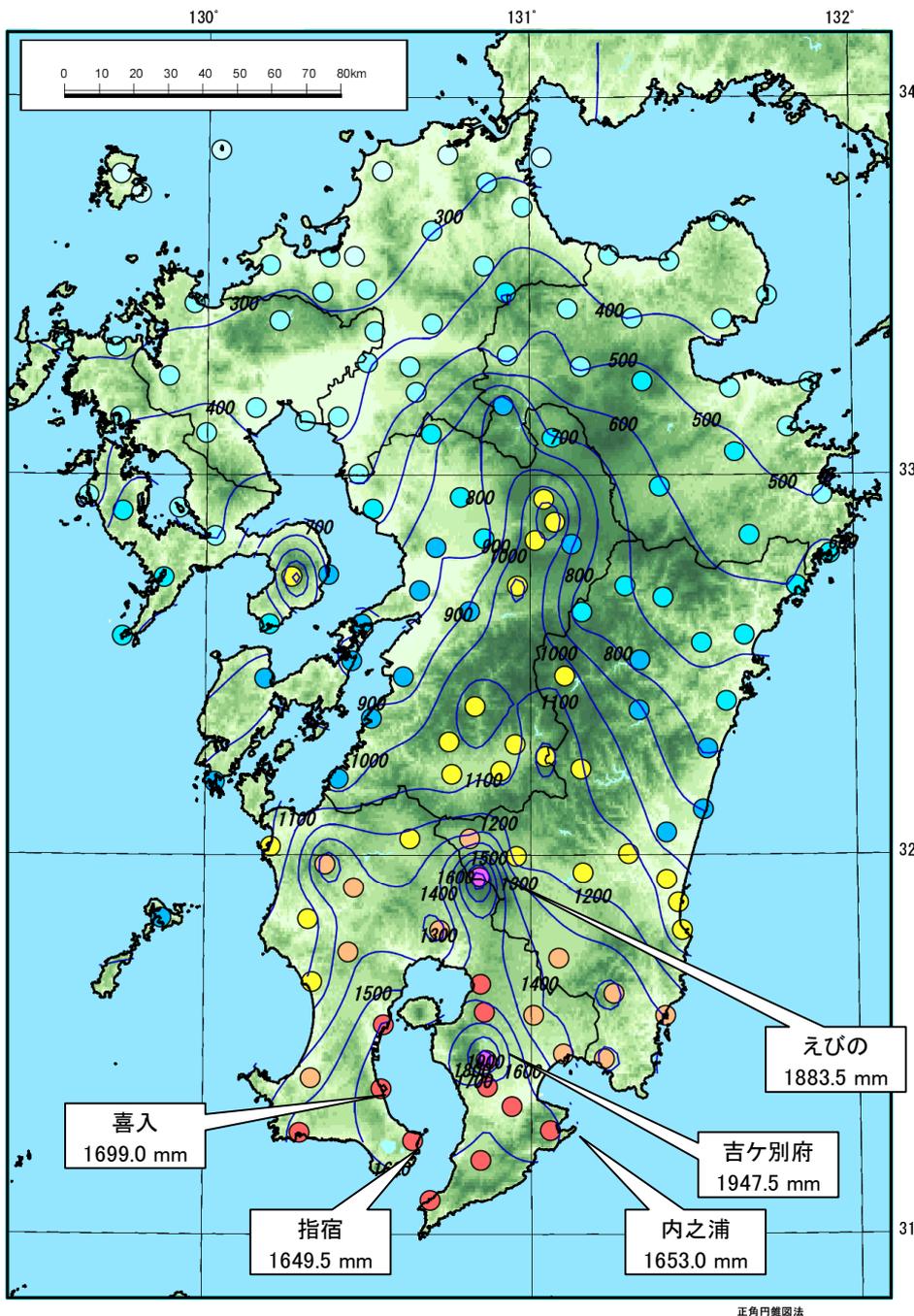


表1 6月1日から7月6日までの総降水量の上位1～10位

順位	地点名	総降水量
1位	吉ヶ別府	1947.5 mm
2位	えびの	1883.5 mm
3位	喜入	1699.0 mm
4位	内之浦	1653.0 mm
5位	指宿	1649.5 mm
6位	鹿屋	1637.0 mm
7位	肝付前田	1636.0 mm
8位	輝北	1632.0 mm
9位	鹿児島	1611.0 mm
10位	田代	1587.0 mm

表2 九州地方の各県の気象台の6月の月降水量の平年値(1981-2010)

地点名	6月の月降水量の平年値
福岡	254.8 mm
佐賀	339.0 mm
長崎	314.6 mm
大分	273.8 mm
熊本	404.9 mm
宮崎	429.2 mm
鹿児島	452.3 mm

図1 九州地方のアメダス地点における6月1日～7月6日までの総降水量
(上図は、気象庁観測データ¹⁾をもとに、工学気象研究所が作成)

■ 鹿児島県垂水市で土石流発生 ■

6月24日23時頃、鹿児島県垂水市牛根地区深港川の上流で土石流が発生し、国道220号が通行止めとなった。7月5日未明に再び同じ所で土石流が発生し、7月6日(月曜日)も国道220号は通行止めとなっている²⁾。

土石流が発生した地点に一番近いアメダス輝北の6月1日からの7月6日までの1時間降水量と総降水量の推移を図2に示す。6月2日に梅雨入りしてから7月6日までの総降水量は1632.0mmに達している。

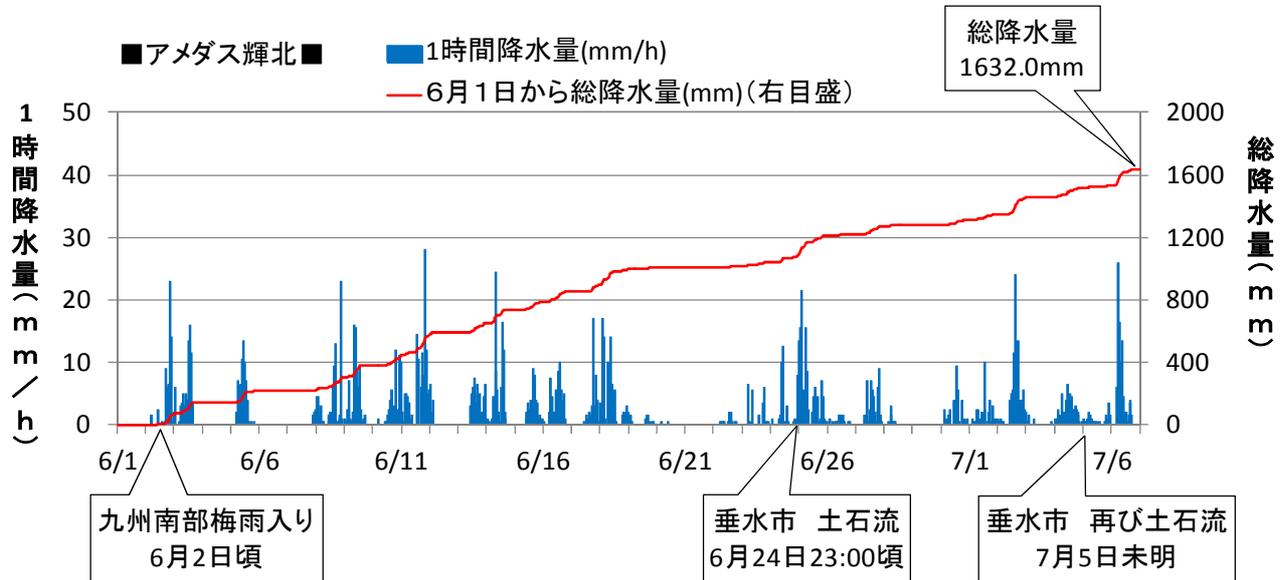


図2 アメダス輝北の2015年6月1日から7月6日現在までの「1時間降水量」と「総降水量」
(上図は、気象庁観測データ³⁾をもとに工学気象研究所が作成)

■ 情報元 ■

- 1) 気象庁, 過去の気象データ・ダウンロード, <http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>
- 2) 鹿児島県垂水市, 平成 27 年 6 月 22 日からの大雨に伴う土砂災害警戒体制, <http://www.city.tarumizu.lg.jp/hisho/kurashi/bosai/bosai/taisaku/h270622.html>
- 3) 気象庁, 過去の気象データ検索, <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

なお、使用している 2015 年 6 月～7 月の気象庁のデータは速報値のため、後日修正される場合があります。

■ 問い合わせ先 ■

株式会社 工学気象研究所
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-30-17 エムアールビル 6 階 Tel 03-5800-0241
URL <http://www.kougakushou.co.jp>

気象に関する調査、研究、解析、システム構築
をお手伝いします。
お気軽にお問い合わせください。

気象の知識を工学的行動に役立てる

業務内容

● 観測業務……自然を調べる

フィールドにおける気象観測・調査(設計、システム構築、点検保守)など。

● 調査解析業務……自然を理解する

気象データ収集・解析、推定マップ作成、シミュレーション、文献調査、データベース作成など。

● コンサルティング業務……自然と調和する

自然災害の設備への影響評価・対策検討などのコンサルティング。関連セミナー講師派遣。